

～沼津のかけがえのない自然環境と生物多様性を未来に残す～

生活環境部  
環境政策課

## “自然観察会”を今年度も開催します

直通 934-4740

沼津市では、かけがえのない自然を次世代に残すため、令和3年度からの10年間を期間とする「ぬまづ生物多様性地域戦略」に基づき、生態系調査を行うとともに、自然観察会の開催や生物多様性の保全に関する情報提供を通じて周知啓発を行っています。今年度も、下記のとおり自然観察会を開催します。

### ■ 概要

自然観察会では、令和3年度、4年度の生物分布調査で作成した学習用リーフレット（別紙）を活用し、現地で発見した動植物の特徴や名前の由来等について講師の解説を聞きながら、身近な自然や生態系について学びます。

#### <浮島ヶ原（アクアプラザ遊水地）>

開催日 令和5年9月2日（土）  
時間 午前9時30分～11時30分  
申込期限 8月23日（水）17時まで

#### <門池公園>

開催日 令和5年9月9日（土）  
時間 午前9時30分～11時30分  
申込期限 8月30日（水）17時まで

#### <いずれも>

対象 市内に住む小・中学生とその保護者  
申込方法 電話、ファックス、またはメールで  
FAX：055-934-3045  
Mail：[kankyo@city.numazu.lg.jp](mailto:kankyo@city.numazu.lg.jp)



### ■ 令和4年度調査結果

令和4年度は、門池公園に生息する動植物の種類や分布状況を調査しました。その結果、モリアオガエルなどの里山、水辺環境に由来する合計600種以上の動植物（静岡県版レッドデータブック掲載種・特定外来生物含む）の生息を確認しました。

### ■ 令和5年度取り組み予定

- ・生物分布調査…長井崎周辺（夏～冬）
- ・自然観察会…浮島ヶ原及び門池公園
- ・生物多様性についての出前講座の開催
- ・特定外来生物等への対応
- ・富士市との広域連携による浮島ヶ原の自然環境保全活動

# 生息する生き物を調べよう！

## 浮島ヶ原

9月2日(土)

9:30~11:30

専門家のガイドのもと散策し、発見・捕獲した昆虫や魚類、植物等について解説を聞きながら観察することで、生態系の豊かさ、人と自然とのつながりを考えます。

- ・ 申込方法 電話、FAXまたはメールにてお申込みください。
- ・ 対象 市内に住む小中学生とその保護者(定員:各30名)

## 門池公園

9月9日(土)

9:30~11:30



きらり沼津。次の100年へ

**FAX 送信先**

**沼津市環境政策課 行**  
**055-934-3045**

**自然観察会 参加申込書**

**浮島ヶ原(9/2) ・ 門池公園(9/9)**

希望の会場に○をしてください(両方の場合は両方に)

氏名	性別	生年月日	学校/学年

**ご連絡先**

住所	〒
電話番号	

**申込期限 : 浮島ヶ原 8/23(水) ・ 門池公園 8/30(水)**

- ※ お申込み多数の場合には、参加者の抽選を行います。
- ※ 抽選結果は、お申込みされた方全員へ郵送にてお知らせします。
- ※ 雨天の場合は、室内プログラムを実施します。

**問合せ先 : 沼津市環境政策課**

電話 055-934-4740 FAX 055-934-3045

E-Mail [kankyo@city.numazu.lg.jp](mailto:kankyo@city.numazu.lg.jp)

# 知ろう！ 守ろう！



アクアプラザ  
遊水地版

## 沼津の生きもの



浮島ヶ原には、特有の湿地性植物や水生生物が生育・生息しています。中でも「アクアプラザ遊水地」は湧き出した地下水を水路にして、昔からの湿原環境が守られています。四季を通じて出会える様々な生きものをそっと観察してみましょう。

いろいろな生きものがお互いにつながり合っていることで、自然の恵みを受けることができるんだよ。

人が自然をこわしたり、ほったらかしにしていると、生きものがすみづらくなっちゃうよ。



エコばっくん



環境イメージキャラクター  
沼環ミライちゃん

### 大切に守ろう サワトラノオ



花期：4～5月

静岡県版レッドリスト：絶滅危惧 I B類  
サワトラノオ (サクラソウ科)

大変希少な植物で、静岡県では、浮島ヶ原（沼津市と富士市）にしか自生していません。アクアプラザ遊水地では秋から冬にかけて、ヨシ原の草刈がされ、春にサワトラノオの自生地が日光が届くため、数が増えているようです。里地里山では草刈や下草焼きなどが人が管理をすることで守られる自然もあります。

持ち込まない！ 持ち出さない！ 「外来生物」

CAUTION! CAUTION! CAUTION! CAUTION!

もともとその場所にいなかった生きもので、人間によって持ち込まれたものを「外来生物」といいます。中でも、生態系等に被害を及ぼすため特に注意が必要なものを「特定外来生物」といいます。最近では、日本に昔からすんでいたメダカがあまり見られなくなっていますが、これはカダヤシなどの外来生物にエサやすみかをうばわれてしまったことが原因の一つという説もあります。生きものを外から持ち込んだり、持ち出したりすることはやめましょう。



カダヤシ (カダヤシ科)



アカボシゴマダラ (タテハチョウ科)



ウシガエル (アカガエル科)



オオカワヂシャ (ゴマノハグサ科)



ミシシッピアカミミガメ (ヌマガメ科)  
通称：ミドリガメ



アメリカザリガニ (アメリカザリガニ科)

CAUTION! CAUTION! CAUTION! CAUTION! CAUTION! CAUTION! CAUTION!

### 観察時の注意

- 子どもだけで行かない ... 危険な場所もあるので大人といっしょに行きましょう。
- 池や湿地に入らない ... 急にふかくなっていたり、泥に足をとられたりして大変危険です。
- むやみに触らない ... ヘビやハチなど人に危害を加える生きものもいます。見つけても触らないようにしましょう。
- 持ち帰らない、持ち込まない ... 希少な生きものの生育場所です。そのままの環境を守りましょう。むやみに生きものを持ち帰ったり、持ち込んだりしないでください。
- 肌を露出しない ... 長そで長ズボン、歩きやすい靴、頭には帽子をかぶりましょう。



Proud NUMAZU  
～気づく環境・築く未来～

2022年3月 沼津市 環境政策課 Tel:055-934-4741

編集・デザイン：東海プラント分析センター株式会社 写真提供：渡邊 修治 小倉 辰彦



アクアプラザ遊水地でくらす生きものを探してみよう！

みつけた生きものに  をしてね。  
どんな生きものなのかを後でしらべてみよう。



植物

湿地帯の浮島ヶ原には、全国的にも貴重な湿地性植物が多く見られます。



ナヨナヨスレナグサ (ムラサキ科)  
花期：5～9月



コマツナギ (マメ科)  
花期：5～9月



クサレダマ (サクラソウ科)  
花期：6～8月



ノウルシ (トウダイグサ科)  
花期：4～5月



コウホネ (スイレン科)  
花期：6～10月



ヒメナミキ (シソ科)  
花期：6～8月



ネムノキ (マメ科)  
花期：6～7月



ヌマトラノオ (サクラソウ科)  
花期：7～8月

水生生物

池、水路、沼、湿地など様々な水辺の環境があり、生息している生きものも違ってきます。



ミズレヌマエビ (ヌマエビ科)



ミナミテナガエビ (テナガエビ科)



モクズガニ (イワガニ科)



スミウキゴリ (ハゼ科)



クサガメ (イシガメ科)



ヌマガエル (ヌマガエル科)

昆虫

春から秋にかけて、様々な昆虫を見ることができます。中でもトンボの仲間が多く生息しています。



ギンヤンマ (ヤンマ科)



アオモイトトンボ (イトトンボ科)



コフキトンボ (トンボ科)



ツマグロヒョウモン (タテハチョウ科)



チョウトンボ (トンボ科)



ヒメガムシ (ガムシ科)

鳥類

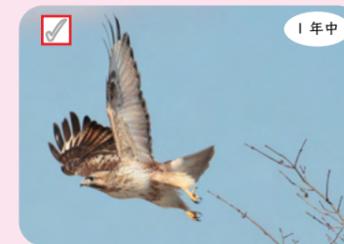
ヨシ原と沼地の湿地環境と、周囲には水田や水路、乾燥した草地などの多様な環境があるため、1年を通して様々な鳥類が利用しています。また、渡りをする鳥も多く飛来します。



カワセミ (カワセミ科)



アオサギ (サギ科)



ノスリ (タカ科)



ケリ (チドリ科)



オオヨシキリ (ヨシキリ科)



コガモ (カモ科)



ダイサギ (サギ科)



コチドリ (チドリ科)



オオバン (クイナ科)

PICK-UP!

静岡県版レッドリスト 要注目種  
ミツガシワ (ミツガシワ科)



花期：4～5月  
池や沼の岸辺の湿地に生える抽水植物です。きれいな水でしか育ちません。約200万年前の氷河期からの生き残りと言われています。

静岡県版レッドリスト 準絶滅危惧  
ナガオカモノアラガイ (オカモノアラガイ科)

湿地の水際や植物の葉の上で暮らしています。浮島ヶ原ではたくさん生息していますが、全国的に数が減っています。

静岡県版レッドリスト 準絶滅危惧  
オオタカ (タカ科)



全長50cm程のタカの仲間、狩場としてアクアプラザ遊水地を利用しています。ハトなどの他の鳥を襲って食べます。



約1cm

# 知ろう！ 守ろう！



## 門池公園版

# 沼津の生きものの



門池は周囲が約1.3kmある大きな池で、農業用として人の手によってつくられました。外周にある門池公園にはクヌギ、コナラなどの樹木、ヒメガマ、ミソハギなどの湿地性植物が多く生育しており、四季を通じて多くの生き物と出会う事ができます。

### 魚類

夏頃見られる、虹色の魚！

※ 全長については、成魚の平均的なサイズ



オス  
オイカワ (コイ科) 全長 15 cm

メス

繁殖期 (5~8月) になると、オスは体の色が赤や青色に変化します。公園から池を覗くと、鮮やかな虹色で泳ぐ姿を見る事ができます。雑食性で、水中の藻や水草、昆虫などなんでも食べます。



※掲載している魚類については、2022年7月に実施した魚類調査で確認されたもので、門池に生息している魚類すべてではありません。

## 持ち込まない！ 持ち出さない！ 「外来生物」

CAUTION! CAUTION! CAUTION! CAUTION!

もともとその場所にいなかった生きもので、人間によって持ち込まれたものを「外来生物」といいます。中でも生態系等に被害を及ぼすため、特に注意が必要なものを「特定外来生物」といいます。生きものを食べたり、エサを横取りすることで、もともと住んでいた生きものを絶滅させたり、その地域に成立していた生態系のバランスを崩してしまう可能性があります。生きものを外から持ち込んだり、持ち出したりすることはやめましょう。



ブルーギル (サンフィッシュ科)



アカボシゴマダラ (タテハチョウ科)



ウシガエル (アカガエル科)



ガビチョウ (チメドリ科)



ミシシippアカミガメ (ヌマガメ科)  
通称：ミドリガメ



アメリカザリガニ (アメリカザリガニ科)

CAUTION! CAUTION! CAUTION! CAUTION! CAUTION! CAUTION! CAUTION! CAUTION!

### 観察時の注意

- 池に入らない ... 池はとても深く危険なため、中に入らないようにしましょう。
- おやみに触らない ... ヘビやハチなど人に危害を加える生きものもいます。見つけても触らないようにしましょう。
- 持ち帰らない、持ち込まない ... 希少な生きものの生育場所です。そのままの環境を守りましょう。おやみに生きものを持ち帰ったり、持ち込んだりしないでください。
- 肌を露出しない ... 長そで、長ズボン、歩きやすいクツ、頭には帽子をかぶりましょう。



2023年4月 沼津市 環境政策課 Tel:055-934-4741

編集・デザイン：東海プラント分析センター株式会社

**植物**



**アオギリ (アオイ科)**



ポートに乗った種?

9月頃に袋のような実をつけ、10月頃に裂けて茶色になります。裂けた実には丸い種がついていて、まるでポートに乗ったように見えます。強い風が吹くと、木から飛ばされヘリコプターの羽のようにクルクルと回転しながら落ちていきます。

**昆虫**



樹液に集まる昆虫

カブトムシ (コガネムシ科)

ノコギリクワガタ (クワガタムシ科)

ハグロトンボ (カワトンボ科)

コムラサキ (タテハチョウ科)

ウチワヤシマ (サナエトンボ科)

オオシオカラトンボ (トンボ科)

池や沢の周りに生息するトンボの仲間



環境イメージキャラクター  
 羽環 ミライちゃん

**ヒメガマ (ガマ科)**



ソーセージみたいな穂には種がびっしり



ソーセージのように見える穂は、タンポポのような綿毛がぎっしりと密集したもので、ひとつの穂の中におよそ数十万個の種がついているといわれています。

ネムノキ (マメ科)



ノブドウ (ブドウ科)



**水生生物**

カエルの仲間



ニホンアマガエル (アマガエル科)

ヤマアカガエル (アカガエル科)

ウシガエル (アカガエル科)

ツチガエル (アカガエル科)

ミナミテナガエビ (テナガエビ科)

エビやカニの仲間

モクズガニ (イワガニ科)

**鳥類**

**カワセミ (カワセミ科)**



エビを食べるカワセミ



門池では、1年中出会う事ができます。池の水面を飛んで小魚やエビなどを捕って食べます。

カモの仲間が越冬の為、門池を利用します



キンクロハジロ (カモ科)

コガモ (カモ科)

ホシハジロ (カモ科)

**PICK UP!**

静岡県版レッドリスト 準絶滅危惧  
 モリアオガエル (アオガエル科)



成長すると5~7cm程になり、前足には大きな吸盤があります。春になると木の枝に白い泡の塊になった卵を産みつけます。

静岡県版レッドリスト 絶滅危惧II類  
 アオバズク (フクロウ科)

5月初旬頃に日本へ渡ってくるフクロウの仲間。(青葉の萌える頃に渡来するため、この名がつけられたとされています。) 門池公園には夜、エサを食べにやってくるようです。

環境省レッドリスト 準絶滅危惧  
 チャイロカワモズク (カワモズク科)



ワカメなどと同じ藻類の一種で、湧水がわく小川や水路に生育します。全国的に数が減っています。



(参考写真: 静岡県静岡市 提供: 小泉金次)